

中学校大会

鳴門・大塚スポーツパークアミノバリュー

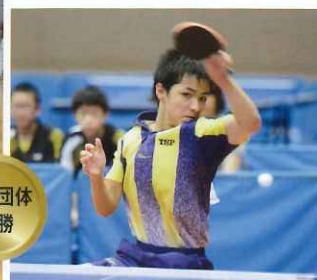
junior-high-school **Boys**

愛工大附属中が 2年連続の優勝

「毎年チームのメンバーが違うので、今年もこのメンバーで優勝を取りに行く、という気持ちで大会に挑みました。優勝することが出来て、めちゃくちゃうれしいです」と真田監督



木造勇人
切れ味鋭い両ハンド攻撃で、
エースの役割を果たした



男子団体
優勝

第45回全国中学校大会が、8月22日～25日まで、鳴門・大塚スポーツパークアミノバリューで行われた。
男子団体は、愛工大附(愛知)と城南(石川)が決勝で対戦。試合は2台進行で行われた。
トップで、田中(愛工大附)が積極的な回り込み攻撃で、川村を下し先取点をあげる。2番は木造(愛工大附)と出雲のエース対決。素晴らしいラリー戦となるが、要所で威力ある両ハンド攻撃を決めた木造が勝利し、王手をかける。3番のダブルスは、太田・橋本(愛工大附)が息の合ったプレーをみせて勝利。愛工大附が2年連続8度目の優勝を決めた。
決勝で敗れた城南は、出雲、三上を中心によくまとまり、森津、川村の鋭い両ハンド攻撃もよかった。
またベスト4には、愛工大附にあと二歩まで迫った野田学園、気合いの入ったプレーを見せた青森山田が入った。



城南

男子団体
準優勝



出雲卓斗
安定した両ハンド攻撃で活躍

3位



野田学園

変化の幅が広いカットで
活躍した竹崎千明



青森山田

今大会負けなしの
活躍をみせた蛭田
龍・大谷和



Best8



尾久八幡

写真は田中虹太郎



京山

写真は萩原卓樹



東高津

写真は磯山三四朗



明豊

写真は渡辺龍介

四天王羽曳丘が 11連覇を達成

11年連続12回目の優勝を達成。「出場した選手全員が頑張ってくれたおかげで優勝することができたと思います」と村田アドバイザー

木村香純

ミスの少ない安定した両ハンド攻撃をみせた



女子団体
優勝



四天王寺羽曳丘



女子団体
準優勝

横浜準人

笹尾明日香

思い切りの良い攻撃で、チーム戦全勝の活躍をみせた

早田ひな
回転量の多い両ハンド攻撃で活躍



中間東

3位



玖珂

光根鈴香

打点が早く、粘り強いプレーをみせた

Best8



山陽女子

写真は木村光歩



武蔵野

写真は青木萌恵



鯖江市中央

写真は青木千佳



浜松修学舎

写真は太田透子

早田ひなが2連覇達成



早田ひな(中間東)

女子単
優勝

常に攻撃をする姿勢を崩さず、質の高いプレーで、2年連続の優勝。「決勝は、途中で弱気になってしまいましたが、タイムアウト後は思い切りプレーすることができました」

女子単決勝は、早田ひな(中間東)と伊藤美誠(昇陽)の対戦となった。ハイレベルな試合内容で、伊藤が1ゲーム目を取るが、早田が2、3ゲームを奪い、王手。だが、4ゲーム目は伊藤が取る。5ゲーム目は伊藤ペースでリードするが、早田がタイムアウト。すると流れが変わり早田が逆転。5-4でチェンジコート。ここから素晴らしいラリー展開となったが、要所で得点を重ねた早田が、マッチポイントを握り、最後は、ドライブが決まって、早田が2連覇を達成した。



伊藤美誠(昇陽)

女子単
準優勝

第3位
梅村優香
(四天王寺羽曳丘)
バック面で
チャンスを作り、
フォアハンドで
決めるスタイルを
みせた



抜群のボールタッチと威力ある攻撃を展開。敗れはしたが、素晴らしい試合をみせた

第4位
木村香純
(四天王寺羽曳丘)
ミスの少ない
安定したドライブで活躍



第5位 塩見真希
(四天王寺羽曳丘)
打点の早い速攻プレーが光った



第6位 笹尾明日香(横浜隼人)
球質に変化をつけてチャンスを作り、得点を重ねた



第7位 木村光歩(山陽女)
初戦を大逆転勝利すると、勢いにのり、ランク入りを果たした



第8位 宮崎翔(四天王寺羽曳丘)
回転量の多いドライブ攻撃を軸に活躍した

出雲卓斗が嬉しい初優勝

男子単
優勝

出雲卓斗(城南)

男子単は、出雲卓斗(城南)と金光宏暢(稲付)が決勝で対戦。見応えのあるラリーが続く。金光が先に2ゲームを先取る。しかしここから出雲がギアを入れ替え、目の醒めるようなプレーをみせ、3、4ゲーム目を取ってペースを握ると、5ゲーム目も両ハンド攻撃が要所で決まり、初優勝。惜しくも敗れた金光は、フォアハンドが光っていた。

決勝は先に2ゲームを取られる苦しい展開となるが逆転し初優勝。「大会前に、合宿をしていて、その時の練習が今回の結果につながったと思います」

男子単
準優勝

金光宏暢(稲付)

威力あるフォアハンドドライブで決勝に進出。決勝もリードしていただけに残念



第3位
三上貴弘(城南)
回転量の多いバックハンドを武器に、ラリー戦で得点を重ねた



第4位
田中佑汰(愛工大附属)
軽快なフットワークを軸に多彩な攻撃をみせた



第5位 内田涼哉(千城台南)
丁寧なカットとガッツ溢れるプレーで実力者に勝利し、ランク入り



第6位 高見真己(愛工大附属)
回転量の多いパワードライブで活躍



第7位 川村大貴(城南)
小柄ながらもフルスイングで、威力あるドライブを連発



第8位 盛武大悟(野田学園)
思い切りの良い両ハンド攻撃で、第1シードの木造に勝利